

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

平成24年8月期

情報連絡員50名 回答数50名

全体概要 【前月からの動き】

前月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は5から1に減少。「減少した」業種は4から11に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は13から10に減少。「減少した」業種は5から9に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は5から2に減少。「悪化した」業種は10から13に増加。

前年同月比

- ▶製造業では、売上高において「増加した」業種は3から2に減少。「減少した」業種は6から7に増加。
- ▶非製造業では、売上高において「増加した」業種は10から6に減少。「減少した」業種は8から10に増加。
- ▶業界の景況では、「好転した」業種は8から2に減少。「悪化した」業種は14から19に増加。

<p>【印刷】 7月と比較して若干悪化した模様。 【県内全域】</p> <p>【生コン製造】 需要が回復に向かい市況は上昇基調。 【県内全域】</p> <p>【電気鍍金】 先行きの経済環境は不透明ながら、スポット受注とみられる生産で維持している事業所があるようだ。平成23年度は減税策もなくなるので、各事業所とも収益は悪化するであろうと思われる。 【千葉】</p>	<p>【製材】 米材、ロシア材、マレーシア材の原木丸太を輸入して、加工した材を販売しているが、各地で原木から加工品として輸出するケースが増えてきた。 【木更津】</p> <p>【乳製品】 全社とも牛乳類の安定が目立つ。 【県内全域】</p> <p>【豆腐製造】 メディアが輸入、国産大豆共に高騰している話題を取り上げたため、大手スーパー等に価格見直しに応じる動きが見えてきた。 【県内全域】</p>	<p>【製造業】 放射能濃度測定器を当組合の検査室に設置。 【県内全域】</p> <p>【鉄工】 受注・販売共に弱含みの状況に転じた企業が多くなっていることから景況感は悪化傾向にある。 【千葉】</p> <p>【機械部品製造】 電力料金値上げの影響がどの程度か状況を見ていく。業界動向は、好材料がなく、不安の状況。お盆休暇で操業度が減った状況にある。 【野田】</p> <p>【機械部品製造】 電気料金が値上げとなり節電を行っているので製造が厳しい状況。 【流山】</p> <p>【機械部品製造】 下期見通し不透明。特に中国減速していることが影響している。大手は為替差額が大きく、この対応策が中小企業にマイナス。 【柏】</p> <p>【金属製品製造】 復興関連、自動車関係の一部に多少動きはあるようですが、全体的には停滞感が強く、依然として先行きが見えない状況にある。 【船橋】</p> <p>【採石】 全体的には、景気の低迷により引続き骨材の需要は減少したまま推移している状況は変わらない。 【県内全域】</p> <p>地域別では、主要の生コン業界へは若干の出荷増はあるものの力強さなないところや、やや低調に推移していると思われるところ、</p>
--	---	---

また、在庫が不変で景気感に大きな変化はないところが見られる。

非製造業

【総合卸売】 【千葉県・東京都】

【漬物製造・卸】北海道の漬物0157食中毒事件後、従業員の健康管理や、野菜洗浄等の衛生管理検査あり。今後法規制の強化が予想され、コストアップ要因。【履物卸】酷暑・省エネ対応等から、サングルの出荷好調。秋物のスニーカー等も出足が良い。

【建築材料卸売】 【県内全域】

需要は今のところ堅調に推移しているが、先行き不安が災いして雰囲気は重い。千葉は前年比103%（前前年よりは10%増）であるが全国平均は前年比107%で決して良くはない。

業界動向は、骨材供給や輸送力面で東北需要のあおりを食い、工事進捗懸念が出ている。セメント社は値上積み残し分の遂行を求めているが、需要家側の反発が大きく浸透していない。がれき処理費用で収入を得て、決算好転しているが、本業はコストアップを吸収出来ていない。災害復旧特需のあるうちに、セメント社は本業の収益体質改善が求められる。

【自動車解体】 【県内全域】

スクラップ価格が8月中旬に上昇し、すぐに下落する不安定な動き。円高や中国経済の動向からさらに下落予想。

エコカー補助金の最終期になるかと予想されたため、駆け込み購入があると考えていたが、予想外に新車は売れず、8月末時点で補助金も残りがある。

【乾物卸売】 【県内全域】

消費低迷状況は変わらない。

「海苔購入金額日本一ありがとうキャンペーン」の第一段として、千葉駅前にて千葉海苔の無料配布を実施予定。

【小売】 【柏】

厳しい暑さが続き、来街者の減少が売上に影響している。

【電気機器小売】 【県内全域】

エアコンの動きが顕著。ただ前年に比べると小商いで推移。猛暑により冷蔵庫、洗濯機が動き始め、7月に続き8月も良好。

【青果小売】 【千葉】

相場低迷と暑さによる購買欲低下に伴い、売上を伸ばせなかった。先月に続き、ロスも多く、収益状況が悪かった。

【中古車仕入・販売】 【県内全域】

全体的にタマは依然多い状況が続いているが、小売に回る生きタマは減少傾向で推移。輸出も地域により増加又は減少と格差が大きく、前年同月比では微増の状態。

【小売】 【東金】

猛暑のため、昼間の客数が全般的に減った。昨年は、震災影響後盛り返して食品等は良かったが、今年はお盆後に後退気味。高額品関係は依然低迷を続けている。残暑で秋物への影響がありそう。

【小売】 【野田】

毎年、徐々に商圏が狭くなりつつある。ヤング層の来店が減少し、メイン顧客はシルバー層になった。

【印鑑小売】 【県内全域】

営業・店売共、前年比マイナスだが、8月は営業の売上が大きく落ち込んだ。

【小売・サービス】 【柏】

暑さが続き、日中は人出が少なく夕方2時程の商売に。積極的に配達や送迎等を行っている店舗はそれなりに健闘している模様。

【建設揚重】 【県内全域】

需要は、低水準状況が継続している。料金は低下したペースは回復せず。材料費の高騰で負担が続いている。

【旅館業】 【鴨川】

少しずつ戻ってきた。

【遊覧船】 【鴨川】

前年7月8月で9回あった欠航が今回一度もなかった。天候の安定により売上は増加、利益を確保できたが、船員、職員の給料等は、未だ3・11以前に戻すことができない。21年度比では未だに30%前後売上減。

【一般廃棄物処理】 【千葉市】

前月よりは少しは景気は良くなったものの、前年の8月と比べると状況は非常に悪い結果となった。

【建設】 【県内全域】

当連合会会員の受注額は、10,035百万円であった。これは前月比で1,487百万の増加で前年同月比でも495百万の増加となった。地域的には千葉、北総、君津で増加。安房、京葉で減少、その他については横ばいであった。更に県・市町村では増加し、国の発注額は減少した。

【貨物運送】 【野田】

昨年の夏に比べ景気の良さを感じられない。

【輸出入】 【県内全域】

①円高が続いて厳しい状況にあるが、回復の兆しはある。②空港直営店舗の売上も増加傾向にある。